



保育所だより



令和2年8月号
平田保育所
TEL 62-3207



〈夕涼み会〉

蒸し暑い日が続いていますが、梅雨が明け夏本番の暑さを感じるようになりましたね。子どもたちはプール遊びや水遊びなどの夏ならではの遊びを、笑顔いっぱい楽しんでます。

先日行いました夕涼み会は、地域の祭りや花火大会などが次々と中止となる中、少しでも子どもたちの楽しみとなるよう企画しました。感染症予防にご協力いただきながら、大勢の方が参加してくださいました。今後は、子どもたちの発想やおもしろかった体験を遊びに取り入れて、保育所内で「夕涼み会ごっこ」を楽しんでいきたいと思います。

そして、今月はプール遊びだけでなく、暑い夏だからこそ思いきりできる遊びを十分楽しめるよう、さらに環境や内容の工夫をしようと考えています。

今年の夏も気温と湿度の高い日が多くみられるようです。子どもたちは体が小さいので、大人より地面からの熱の影響をより強く受けます。こまめに水分補給をし、疲れたり体力が落ちたりしていると感じられる時には、無理をせずに休息をしっかり取るよう心がけましょう。



〈ぞう組〉

保育目標～夏の遊びを思いっきり楽しもう

引き続き、プール遊びや水・泥んこ遊び・氷や寒天・色水・シャボン玉・絵の具でのボディペインティングなどの遊びを楽しみます。また、夕涼み会の体験を遊びに取り入れ、いろいろな友だちとふれあって遊べるようにし、異年齢での関わりも大切にします。

生活目標～夏の過ごし方を知り、元気に過ごそう

小さい子どもにとって、暑さや夜更かしは体調を崩す原因となります。そこで、保育所では体を休める時間を持ち、こまめな水分補給をしています。また、元気に夏を過ごすためにはどのようにしたら良いのかを、紙芝居などでも知らせていきます。ご家庭でも早寝早起きをして生活リズムを整えるようにしましょう。



〈ばんだ組〉

〈こあら組〉

お知らせ・お願い

●プール遊びについて

プール遊びをしますので、髪の毛長いお子さんは短く切るか、しっかり結んでください。汗をかいたらこまめに着替えますので、衣服の補充をお願いします。

●希望共同保育について（13日・14日・15日）

保育希望の方は、弁当と水筒を持ってきてください。

●駐車場について

送迎時は込み合いますので、お子さんを送ったり、迎えに行かれたりしましたら、速やかに車を移動していただきますよう、よろしくお願い致します。

●実習生について

17日(月)～31日(月)の間、森脇さん(大学3年生)が保育実習をしますので、よろしくお願い致します。



〈うさぎ組 小麦粉〉

〈りす組 水〉

〈ひよこ組 片栗粉〉

8月の行事予定

*印については後日詳しくお知らせします。

- 3日(月) ぞう組ひよこ組のびのびすくすくの日①*
- 5日(水) ばんだ組りす組のびのびすくすくの日①*
- 7日(金) たなばた会
- 10日(月) 山の日【祝日：休所】
- 12日(水) 布団持ち帰り
- 13日(木) ～15日(土) 希望共同保育*
- 17日(月) 身体測定週
- 18日(火) 誕生会
- 20日(木) 集金日
- こあら組うさぎ組のびのびすくすくの日②*
- 26日(水) 河川氾濫時避難訓練
- 27日(木) 巡回相談日【山田心理相談員来所】
- 28日(金) ぞう組ひよこ組のびのびすくすくの日②*
- 布団持ち帰り
- 31日(月) ばんだ組りす組のびのびすくすくの日②*

9月の行事予定

- 26日(土) 運動会*

職員出張関係(△は午後からの研修)

- 18日 保育士等キャリアアップ研修～来海(20日まで)
- 19日 福祉職員キャリアパス対応生涯研修～板垣(20日まで)
- 23日 △出雲市同和教育講演会～濱村
- 27日 就学前人権教育講座～清原

「♥子育て通信♥」～子どものストレス どう向き合う?～

「子どもがストレスを感じているな」と思われたことはありませんか。生後間もない赤ちゃんは快と不快の感情がおもで、ストレスの原因は暑い・寒い・痛い・かゆいなどといった環境的要因が中心です。大きくなるにつれ、感情が育ってきて不安や怒りなどの心理的要因によるものも増えていきます。

でも、子どもがストレスを感じることは悪いことではなく、適度なストレスはプラスに変える接し方をすることで、子どもたちは成長します。

子どもがストレスを感じていると思った時には…

- ① 原因を取り除く(眠い・かゆいなど)
- ② スキンシップをとる(抱っこをするなど)
- ③ こどもが楽しいと思えることをする(好きな遊びをして気持ちを切り替える)

ストレス対策で子どもの思いを尊重することは大切ですが、言いなりになることではありません。「～がしたいのね」などと気持ちを認め、「でも、今日は帰らないと」など行動には制限があることを教えるのがしつけです。気持ちと行動は区別し、しつけるのは行動だけに。子どもの思いには100%寄り添いましょう。

子どもは、いやだなと感じた気持ちをわかってもらい、安心安全と感じられる環境があれば、ストレスを乗り越える体験を通じて自己肯定感を高め、困難を克服する力を育むことができます。

子どもがストレスを感じた時、それは成長のチャンスととらえ、気持ちに寄り添いながら支えていきましょうね。

～参考文献：プリプリ8月号 NPO法人子育てひろはほわほわ顧問永瀬晴美さん、めぐみクリニック精神科医皆川恵子さんのお話より



〈うさぎ組〉

